ランピースキン病

MAFF
農林水産省

Point

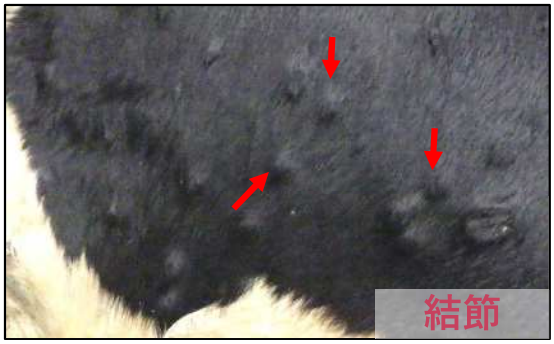
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、サシバエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈します。本病は死亡率は高くなく、自然治癒しますが、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

- 発熱、鼻汁
- 皮膚の結節
- 泌乳量の低下
- リンパ節の腫大

疑わしい場合は
直ちに連絡！


結節（全身性）


結節


結節


皮膚病変

ランピースキン病の侵入防止対策

01 毎日の健康観察

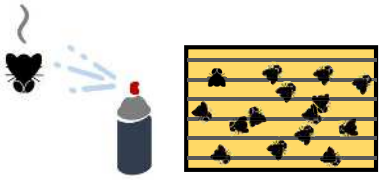
早期発見・早期連絡が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、出荷、移動時は健康観察を徹底。





02 害虫の駆除

殺虫剤、粘着シート、
ＩＧＲ剤等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

ランピースキン病の感染拡大防止！
車両や人による
農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバエ等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- **車内に入り込んだ**サシバエ等も、確実に殺虫！

（特に寒い時期、サシバエ等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。）

車体に集まったハエ



（資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバエ等が入り込む可能性があるので、搬入時確認！）

人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接触れる者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）交換**の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- **聴診器**等、**皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！



農林水産省

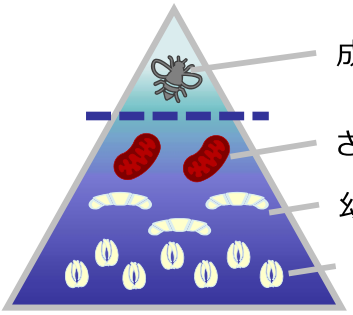
○○県○○○○家畜保健衛生所

春先に向けたサシバエ対策で牛を病気・ストレスから守りましょう！

農林水産省
九州農政局

はて？冬季のサシバエ対策？春・秋よりサシバエ見ないけど・・・

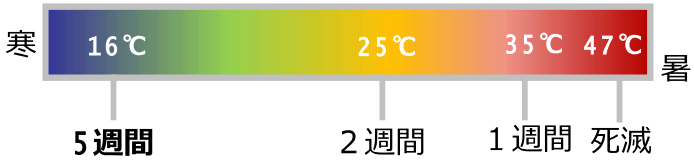
成虫がいる＝幼虫はもっと潜んでいる



目に見える
成虫20％

発生源
80％
成虫は氷山の一角！

温度とサシバエが卵から成虫になるまでの発育日数の関係



冬季は気温が低いので、発育速度が遅い！
幼虫対策をすれば、殺虫剤を撒く回数も減少！

九州の冬季サシバエ対策は、寒いうちから！

スタートが遅れると、ハエの数は爆発的に増加します・・・

1．幼虫対策は、堆肥等の管理とIGR剤の散布！



堆肥の切り返しは
隅々まで！

牛舎隅など牛が踏まない・糞の取り残しがある場所、
カーフペンなど子牛のいる牛床にIGR剤を散布！

つなぎ牛舎は
バーンクリーナーへ散布！

2．成虫対策は、防虫ネットや殺虫剤ローテーションで！



地面や床から２ｍは防虫ネットで
覆えるようにしましょう！
隙間や穴がないか確認を！

殺虫剤は
サシバエが飛ぶより
上を狙って噴霧！

殺虫剤はローテーションを！
噴霧量が十分か確認！

3．対策は地域ぐるみで！関係業者もご一緒に！

写真協力：鹿児島県内酪農家、（独）家畜改良センター宮崎牧場、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、エランコジャパン株式会社

裏面もチェック

サシバエ対策、ここをチェック！

農林水産省
九州農政局

1 堆肥・敷料・残餌はしっかり管理できている！

・切り返し等により堆肥発酵時の中心温度が65度になることを確認
・牛床は清潔に保たれ、汚れた敷料や残餌は片付いている

はい → すばらしい！

いいえ ↓

IGR剤を撒き、幼虫対策をしている！

・バーンスクレーパーが通る前にバーンクリーナーに散布
・牛の踏まない所を中心に散布（特に牛舎隅など）

はい → その調子！

いいえ ↓

サシバエ幼虫は、堆肥等の管理＋IGR剤で限りなく減らそう

サシバエの成虫１匹は、生涯600個もの卵を産む。**冬の成虫１匹は来シーズンの１万匹に相当すると言われるほど、冬季対策が重要**。サシバエの活動が低下している冬季だからこそ、地域ぐるみで幼虫対策をしましょう！



子孫残セナイ…

2 牛舎内で八エ成虫をほぼ見ない

はい → みんなのお手本！

いいえ ↓

サシバエ成虫を、牛舎内で見かけたら、対策徹底！

サシバエは農場内でも発生するし、他所からも飛んだり運ばれたりしてやってくる。地域ぐるみでの対策が重要。サシバエの持ち出しや持ち込みがないよう農場出入り業者にも**車内の殺虫を**お願いしましょう。



ココニハ 住メナイ〜

サシバエ成虫対策 ３つのポイント

１．殺虫剤はローテーション

同じ殺虫剤を連用していると、生き延びたサシバエが耐性を持つことがある。
殺虫剤が効きにくくなる前に、**系統が異なる殺虫剤とローテーションで回していこう**。
十分な濃度・噴霧量で散布しているかも要チェック。

２．防虫ネットの設置

地面から2ｍ の高さまで床から天井に向けて設置。**穴が開いてないか**定期的にチェック。

３．下草刈りゃ防草シートの設置

サシバエが日中休息する**牛舎周辺の下草を刈ろう**。**防草シート設置も効果的**。

問合せ先：●●県●●家畜保健衛生所　XXX-XXX-XXXX